

請求の範囲

- [請求項1] 構造物側に設けられたポリマーセメント層と、該ポリマーセメント層上に設けられた樹脂層とを備え、厚さ分布が $\pm 100\mu\text{m}$ 以内である、ことを特徴とする構造物保護シート。
- [請求項2] 前記ポリマーセメント層と前記樹脂層の両層が、それぞれ、単層で形成されているか又は積層として形成されている、請求項1に記載の構造物保護シート。
- [請求項3] 前記ポリマーセメント層は、セメント成分を含有する樹脂で形成された層である、請求項1又は2に記載の構造物保護シート。
- [請求項4] 前記ポリマーセメント層と前記樹脂層との一方の面に離型シートを備える、請求項1～3のいずれか1項に記載の構造物保護シート。
- [請求項5] 水蒸気透過率が $10\sim 50\text{g}/\text{m}^2\cdot\text{day}$ の防水シートである、請求項1～4のいずれか1項に記載の構造物保護シート。
- [請求項6] 請求項1～5のいずれか1項に記載の構造物保護シートを使用した施工方法であって、構造物上に接着剤を塗布した後に前記構造物保護シートを貼り合わせる、ことを特徴とする構造物保護シートの施工方法。
- [請求項7] 前記構造物と前記接着剤との間に下塗り層を設ける、請求項6に記載の構造物保護シートの施工方法。
- [請求項8] 請求項1～5のいずれか1項に記載の構造物保護シートが表面の一部又は全部に接着剤を介することなく設けられている、ことを特徴とするプレキャスト部材。
- [請求項9] 構造物保護シートを型枠内面に配置した後に該型枠内にコンクリート形成用組成物を流し込んでプレキャスト部材を製造する方法であって、製造された前記プレキャスト部材は、前記構造物保護シートがその表面の一部又は全部に設けられ、前記構造物保護シートが、ポリマーセメント層と該ポリマーセメント層上に設けられる樹脂層とを備えた厚さ分布が $\pm 100\mu\text{m}$ 以内である、ことを特徴とするプレキャスト

ト部材の製造方法。